

★ 議会報告会 Q & A （第一中学校体育館）

質 問	回 答
議員は18名でもよいのではないか。 (議員定数、なり手不足) ※1	議会改革特別委員会のなかで、次のような方向性で検討されました。 ○充実した議論をするには、3委員会が必要であり、1委員会には最低6人が必要です。この数に議長を加えて19人となります。 また、議員定数の削減については、次の①～④のような議論がありました。 ①議会力の低下につながる。 ②多様な層からの立候補が難しくなる。 ③無投票の解消につながらない。 ④なり手不足の解消に逆行する。 こうした議論を踏まえ、削減の方向での協議の結果、1名減の19人と決定しました。
政務活動費は昨年余らしている会派もあるのに、どうして倍になるのか。	議会力をアップして、チェック機能強化と政策提言につなげるため、調査研究活動の更なる充実が必要であり、確実に議員の活動量も増えています。しかし、コロナ禍で予定していた視察ができなくなり、結果的に余りが出ている会派もありますが、現状では、年間6万円程度の持ち出しをしている実態があり、他市町の状況も鑑みて、月額1万円を増額する方針を決定しました。
他市の議会は、休日の議会開催や夜の議会をしている。なり手不足解消のためにも、検討されるべきだと思う。	議会改革特別委員会において、なり手不足解消のための一つの方策として、休日議会、夜間議会について、他市の状況も含め検討しましたが、なかなか実施にも困難な状況もあり、検討課題となっています。
砂川の内水氾濫により中須町は被害を受けた。砂川に土砂が堆積しており、浚渫をしてもらいたい。	砂川につきましては、鶴飼橋上・中須新橋上の浚渫工事を今年度行う予定となっております。 議会として、他の地域からも浚渫の御要望をいただいております。引き続き所管の広島県東部事務所へ要望してまいります。
避難所となっている体育館の設備は充実してきたが、やぶ蚊が入ってきて困った。また、トイレの洋式化や数を増やしてほしい。	学校のトイレの洋式化については、児童生徒が日常使用する校舎内トイレを先行的に改装しており、全学校の校舎に洋式トイレが設置できている状況にあります。今後、議会としても、体育館のトイレの洋式化などについて引き続き要望をしてまいります。
高齢者が外に出たくなるような仕組みを検討したらと思う。	それぞれの地域特性を活かしたコミュニティ活動の活性化を図り、生きがいを持って元気に暮らすことのできる環境をつくり、これからも住み続けたいと思ってもらえる地域づくりを目指していきます。また、まちの賑わいを創り、地域の活性化を検討する場合は、外部から人を呼び込むような施策も重要であると考えます。

議員と語る会では、全体での質疑応答時間を多くとってほしい。分散会方式は必要ない。	昨年度と本年度については、参加者が意見を出しやすくするため、分散会方式を取り入れています。これにより、議員と直接対話することができ、実際に意見を出しやすかったというご感想をいただき、成果はあったと考えます。来年度以降においても、この経過を考慮しながら実施方法を検討していきます。
旭小学校の特別教室にクーラーを設置してほしい。	旭小学校は多目的教室と生活科室、外国語活動教室の3教室へ空調設備を設置しています。 議会としても、さらに快適な学習環境の整備に向け、市内全校の理科室や図書室などの特別教室や体育館への空調設備の設置を要望していきます。
都市計画税の多くが公共下水道事業に使われてきたが、対象地域外となっている所からも、徴収している意味を知りたい。	都市計画税は公共下水道事業をはじめ、都市計画道路や都市公園等を整備する際の財源としても活用しています。下水道区域については、本年度新たに浄化槽設置区域を設け、浄化槽設置について、上乗せ（独自）補助を実施しております。都市計画税は、この財源の一部となっています。

★ 議会報告会 Q & A （上下中学校体育館）

質 問	回 答
町内会要望に対する経過報告がない。	議会としては経過報告も含めてできるだけ早く回答するように求めてまいります。
現役世代からの議員への転職は難しいのではないかな。	議員のなり手不足については、全国的な課題となっています。サラリーマンの立候補、議員活動のための休暇制度、議員の任期終了後の復権制度、公務員の立候補制限、兼職禁止の緩和等新しい議会のあり方について、全国市議会議長会においても議論されているところであり、引き続き検討してまいります。
行政の取り組みについて、市民への説明不足ではないかな。	広報の方法は、広報紙、町内会回覧、ホームページ、フェイスブックなどで行っていますが、よりわかりやすく市民の皆様に伝わるよう行政に要望していきます。
議会活動について、議員からの報告が少ない。	議会として開催する「議員と語る会」については、現状、年に1回開催しております。議員個人として、また、会派としての議会報告については、それぞれの判断において開催しています。また、各常任委員会では、各種団体との意見交換会を開催して、幅広く意見を聴いております。
コロナ対策での議員報酬カット分は何に使われるのか。	令和2年6月支給分の議員の期末手当は、20%の減額措置を講じたところですが、この減額分については、コロナウイルス感染症拡大に伴う様々な支援に要する経費の一部に充当していただくよう、市長に要望しました。

鳥獣被害対策で捕獲時の補助金は他市町と比較すると少ないのではないかと。箱罟を増やしてほしい。	捕獲時の補助金につきましては、府中市有害鳥獣捕獲対策協議会で協議・検討されます。 箱罟については、令和3年度に増設を予定されており、議会として、今以上の増設を要望してまいります。
山林と里の間の草刈りを行政でやってもらいたい。	個人所有の土地については、行政が草刈りを行っていないことをご理解願います。 土地所有者の管理責任において対処していただきますようお願いいたします。
災害時に河川の氾濫があった小塚地区、上下川の土砂の撤去をお願いします。	所管である広島県へ要望を行っております。
北部地域の有線放送廃止後の行政サービスの情報伝達の代替案はあるのか。	議会としても心配をしているところですが、市の広報紙、ホームページ、回覧などのさらなる充実とともに、光通信網の整備と併せて、日常の情報をお伝えする「府中市民生活総合アプリ」などを活用できないかと要望しているところです。
コロナ感染時の府中市の情報開示の対応が悪い。広島県保健所の対応や情報開示は今後どうするのか。	感染症患者に関する情報の公表は、保健所を設置していない府中市において感染者が確認された場合は、広島県が公表することになっています。 県は、陽性と判明した後、速やかに、年代、居住地、症状経過、入院等状況及び他事例との関係（県外往来の有無）に絞り込んで公表しています。これは、個人情報を守秘し、聞き取り調査の精度を上げつつ、調整に要する時間を短縮し、積極的疫学調査の効果を上げるためです。 市は、県が公表した資料などをホームページや防災メール、Facebookなどで市民の皆さんにお知らせし、気をつけていただきたい点などの注意喚起を行っています。さらに府中市においては、市が関係する施設や学校、市の職員等から発生した場合には、公共性と感染拡大防止の観点等を総合的に判断し、施設名などの情報を県と連携を取った上で公表することとしています。 府中市としては今後とも、公表に係ってはプライバシーの保護や風評被害に十分配慮し、公共性と感染拡大防止等を判断したうえで、市民の皆さんの安心安全につながるよう、引き続き県や関係機関と連携して取り組みます。市議会としても適切な情報公開を求めています。
コロナの感染拡大での学校の休校等の基準はあるのか。	臨時休業については、保健所の調査や学校医の助言等を踏まえて判断しています。 学校内で感染が広がっている可能性がある場合には、学校全体を数日臨時休業を行うこととしている他、学校の消毒実施や保健所による積極的疫学調査の実施範囲なども踏まえて臨時休業の期間を決定しています。
マスク着用なしで営業している飲食店がある。府中市として徹底した指導を求める。	マスク着用を含めて、これまで府中市広報、ホームページ、防災メールなどで基本的な感染予防策の徹底をお知らせしているところですが、市民の皆さん一人ひとりが意識して行動していただくことが重要と考えます。感染予防策等については、広報等を活用しながら、継続して繰り返し注意喚起を行っていくよう、行政に働きかけてまいります。

災害時に高齢者が避難所へ行くのは困難である。各コミュニティへ避難しているが、備品確認はできているのか。	段ボールベッド等、自主避難所の備品については、町内会の要望に応じて配布しております。
鳥獣被害対策に対して新たな取り組みはあるのか。	令和２年度にＩＣＴ技術を活用した大型の囲い檻と遠隔監視・捕獲システムを導入し、サル捕獲実証実験（府中市阿字町）が行われています。 他の地域への本格導入に向け、実験結果を検証し、システム運用や要綱の整備が行われます。
府中市の広報にて公共事業の入札情報を開示してほしい。	入札情報・工事契約状況につきましては、市のホームページにより公開しておりますので、広報紙へは掲載していない状況です。
野焼きの事前申告について、福山消防、庄原消防に分かれている。その対応も違うので、やりにくい。	各消防組合の管轄があることを考慮すれば、現在の取り扱いについて、ご理解をお願いせざるを得ないと考えております。
出産応援金、子育て支援の助成金を多くしてほしい。	出産応援金については、平成26年10月から令和元年9月末までの5年間の事業で終了しています。新たな経済的な少子化対策として、令和元年4月から国に先駆けて3歳児から5歳児の保育料の無償化を実施しています。さらに、市独自の支援策として、令和元年10月から、3歳児から5歳児の保育所給食費（月額4,500円）も無償化し、経済的支援を実施しています。議会としても、今後、子育て支援をさらに充実していくよう要望してまいります。
ゴミ袋を無料化してほしい。	ゴミ袋料金に係るゴミ処理協力金は、令和２年３月まで特例として半額となっておりますでしたが、令和２年４月から半額を本則とする条例改正を議決し、少しずつではありますが市民の意見が反映しつつあります。
火災時の個人情報の非開示により消防活動に支障が出ている。	個人情報の開示、非開示については、各広域消防の考え方で決定されています。福山地区消防組合へは、検討していただくよう伝えています。
天満屋、恋しき、翁座等は、将来地元の発展に寄与できるのか、行政から財政出動をして大丈夫なのか。	【天満屋活用事業】 現在検討委員会等を設置し、本事業の運営体制、運営手法、有利な財源を検討しながら、事業を進められていますので、進捗管理も含め監視を行ってまいります。 【恋しき、翁座】 施設の取得や改修などには、国・県などの補助制度、寄附金やふるさと納税、将来的な負担が少ない起債(地方債)などが活用される見込みとなっておりますので、財政負担が最小限となるよう監視を行ってまいります。

道の駅は機能しているのか。	道の駅びんご府中は、まちなかの道の駅として地元住民を中心に利用されております。今年度は、コロナ禍においても、11月末現在の売上を前年度と比較すると、事業全体では8%増加しております。 傾向としては、週末の市外からの来訪者の減少により、レストランや特産品の売上は減少しておりますが、今後も産直市を中心に生産者と消費者をつなぐ場、情報提供の場として、取り組みを充実されるものと考えております。
観光地としての上下町のトイレの整備はどうか。	現在、上下駅、上下歴史文化資料館、泊まれる町家天領上下などを利用されております。 今年度はこれらに加え「びんご府中おもてなしトイレ」として協力してもらう店舗や施設を認定する制度を創設し、地域の協力を得ながら観光客の受入体制を強化されます。

★ 議会報告会 Q&A （府中明郷学園体育館）

質 問	回 答
市としてのSDG s の取り組みが見えない。	府中市は第5次総合計画において、SDGsの考えを取り入れた「持続可能なまち」の実現を目指しています。今後も具体的でわかりやすい説明を求めています。
決算審議が充分に行われているのか。チェック機能が果たされているのか疑問を感じる。	9月議会における決算特別委員会での審議、更には議会による事務事業評価などにより、事務事業に対して、チェックを行っています。また、進捗中の事業においても適宜その状況の報告を求めたりして、機能を果たすよう努めています。
町内会への負担が多く感じる。	町内会の運営や負担軽減について、市がもっと支援できるよう要望していきます。
天満屋2階の活用においては、今後必要となる管理費用分くらいは最低限稼ぐことを考えてほしい。	府中版ネウボラのような、公共サービスについては稼ぐという視点で運営することは馴染まないと考えております。 その他の活用策については運営上、管理経費が抑制できる仕組みを検討されるよう要望してまいります。
定数をもっと減らしてはどうか。	（第一中学校 ※1 に同じ。）
中学生くらいから議会の傍聴を授業の一環としてはどうか。	毎年、各中学校の代表による志の議会が開催されており、実際に議場で提案することにより、議会の役割を勉強して、それぞれの中学校へ持ち帰っています。

議員報酬が少なくて若い人に魅力がないのでは。報酬を上げること考えてはどうか。	府中市議会議員の拘束時間、活動量を考えると、専業でないと活動できにくく、生活給的な要素もあり、なり手不足解消の観点からも減額すべきでないとする意見が多くあったなかで、現状どおりとすることとなりました。
女性が立候補しやすい環境づくりが必要である。	育児、介護、看護、配偶者の出産に関する欠席規定の適用範囲の拡大、一時保育等の環境整備を検討する必要があると考えています。
三郎の滝、河佐峡、オオムラサキの里など整備すればもっと誘客が図られないか。	観光客の誘客促進を図るためには、まず、地域で観光客を受け入れるための環境づくりを行うことが必要と考えております。現在、上下地区のほか、府中八幡地区、協和地区、出口地区、栗柄地区、三室山・荒谷地区において、府中市観光協会を中心に、観光を活用した地域活性化に取り組まれています。
今回のコロナ対策で三郎の滝への通行止めが地域への説明なく、勝手に行われた。地元との協力体制はどうなったのか。	通行止めを行う場合は、地域の皆様に影響が生じることが想定されることから、地元の方々への説明は不可欠であると考えております。 今後は地元の方々と十分に協議した上で対応するよう、議会として要望してまいります。
観光地等で出るごみの不法投棄がある。ゴミ箱を設置したほうがよいのでは。	不法投棄はコンプライアンスとモラルの問題であることから、不法投棄がある場所には、看板設置による不法投棄への警告や、来訪者へのゴミ持ち帰りなど、周知の徹底が必要と考えています。
農業対策はコロナ対応と人口減対策・空家対策との連携で考えていくべきである。	人口減少対策・空家対策についても、農業のみで解決できる問題ではないと認識しております。 農業振興施策に加え、地域振興施策、観光施策、教育施策等の様々な部門が連携して総合的に対応する必要があると考えております。

★ 議会報告会 Q＆A （府中学園体育館）

質 問	回 答
議員定数を少なくして、報酬を上げれば、成り手不足解消に役立つのでは。	（第一中学校 ※1 に同じ。）
議員の活動で、町内の要望対応をしているのか。	現在、地域の要望活動については、原則、町内会長を通じて市へ要望することとなっています。
「府中八幡もみじの森 紅葉祭り」において、観光協会と市の連携はあるのか。	府中八幡神社での紅葉まつりの主催は、「府中八幡もみじの森づくり実行委員会」であり、地域や府中市観光協会、府中美術協会の共催で開催されました。 市は、引き続き観光協会と連携していきます。

今後、翁座をどのようにしていくのか。	今後は具体的な活用策について、建築の専門家、観光業者、地元まちづくり団体、地域住民などからなる活用検討委員会で議論いただいた後、観光振興にも活用されるよう考えられております。
恋しきを改修して府中の観光の拠点として考えているか。	市民共有の財産として保存するとともに、観光のシンボルとして賑わいを創出されるものと考えております。
府中駅周辺が空地化しているが、どのような計画となっているのか。プールはどうするのか。	駅周辺の賑わいづくりは、長期間停滞してきた課題解決の取り組みとして必要であると認識しております。府中市グランドデザインに沿って整備されるよう要望してまいります。 また、府中市B＆G海洋センターについては、老朽化が著しい現状を踏まえ、まずは、建替え場所の確定や財源の見通しなど、新たな市民プールの建設に向けた検討が行われているところです。
議会だよりの紙面は大きいですが、A4の市の広報ぐらいでよいのではないかと。	議会だよりにについては、市民の方が読みやすい、手に取りやすい物を検討した結果、A4判から現在のタブロイド判に変更した経過があります。また、最近では、少しゆったりとした紙面構成とするなど、読みやすいように工夫をしています。
埋め立てセンターの次の候補地の選定をする必要がある。	今後の埋立状況を把握しながら、長期構想の更新などに伴う調査等が行われます。
近隣市町と比較して、ここが素晴らしいとアピールできる施策を推進してほしい。	議会としても、府中市の強みや魅力を生かした取り組みが、目に見え、感じられるよう、取り組みを進めてまいりたいと考えます。
議員定数、担い手不足について、市内を小選挙区制度にすれば解消するのではないかと。	市議会議員は、市全体の代表であり、特定の地域代表としての選出方法は本市のような規模の市では馴染まないと考えます。
コロナ禍により公民館活動が全て中止。市が条件を設定して、新しい生活様式で対応しながら開催してはどうか。	新しい生活様式のもとで、公民館等の活動を再開しており、感染拡大の状況を見ながら対応してまいります。
マイナンバーカード普及の目標値はどうなっているのか。	府中市総合計画では、マイナンバーカードの普及率90%以上という目標を定めていますが、令和3年1月1日現在の交付率は21%です。費用対効果を考えて、30%を当面の目標として取り組んでいます。